

取扱説明書

保管用



リニア調光LEDペンダント (天井付専用)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品名	光源ユニット	適合電圧
PD-2564-L・PD-2565-L	Power LED 2.3W×6灯(電球色)	AC100V(±6%)

※1回路の最大接続台数は30台までです。30台を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて

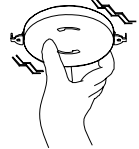
- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- 🚫 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。
- 🚫 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。
- ❗ 付属の引掛けシーリングボディの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- 🚫 次のような場所には取り付けないでください。

破損しているもの ガタつくもの



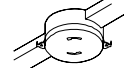
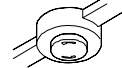
壁面



傾斜した場所



不安定な場所



ケースウェイにセットされている配線器具

- 🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- 🚫 エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。
- 🚫 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。
- ❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による) 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- ❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。
- 🚫 調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。(次項を参照して下さい)
★不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。
- 🚫 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- 🚫 カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや、欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- 🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- 🚫 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。
- ❗ 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。
- ❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。
- ❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。



調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。
 ★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

メーカー名	調光器名所	品番	1回路当たりの接続数	インターフェース※
LUTRON	ホームワークス用マエストロ	HWD-4NE-JA-	1台(調光器1台に対して)	LUT-LBX-JA
			2~10台(調光器1台に対して)	不要
	グラフィックアイ QS	QSG-※P-100-	1台(1ゾーンに対して)	LUT-LBX-JA
			2~15台(1ゾーンに対して)	不要
			16~30台(1ゾーンに対して)	NGRX-PB-JA-WH
	グラフィックアイ 3000	GRX-310*-T-JA-	1台(1回路に対して)	LUT-LBX-JA
2~30台(1回路に対して)			不要	
調光盤	JDP-※・GP-4	1台(1回路に対して)	LUT-LBX-JA	
		2~30台(1回路に対して)	不要	

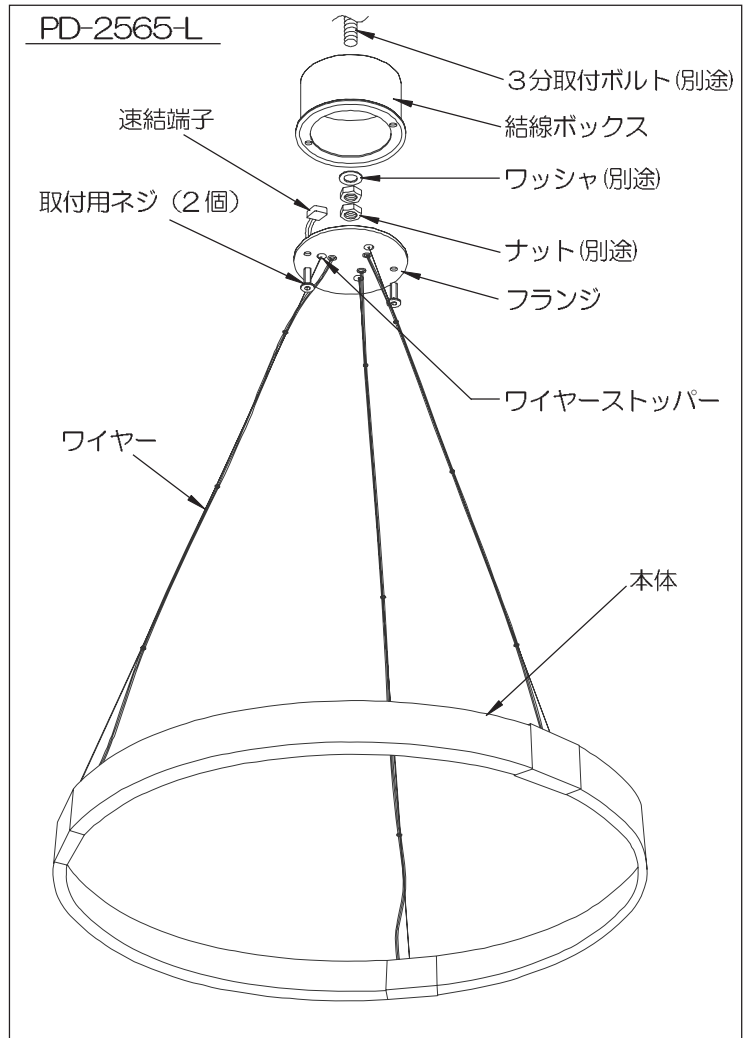
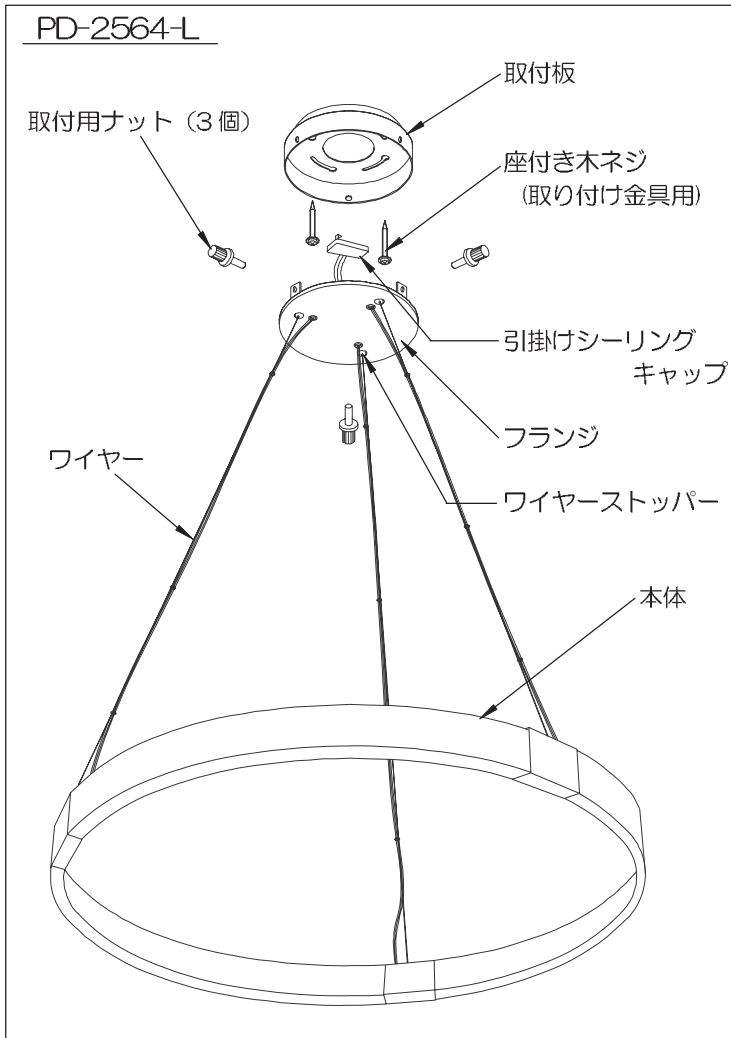
※ インターフェースが必要な場合は1回路に1台を必ず接続して下さい。
 LUT-LBX-JA: 低負荷容量インターフェース、NGRX-PB-JA-WH: パワーブースター

- ★調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
- ★電源を入れても点灯していない様に感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をして下さい。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
 (不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

- 引掛けシーリングボディー・・・1個
- ローゼット用ネジ・・・2本
- 木ネジ(引掛けシーリングボディー用)・・・2本
- 座付き木ネジ(取り付け金具用)・・・2本

- 六角レンチ(PD-2565-L)・・・1本
- 取り扱い説明書・・・1枚
(本書)
- 保証とアフターサービス
について・・・1枚

取り付け方

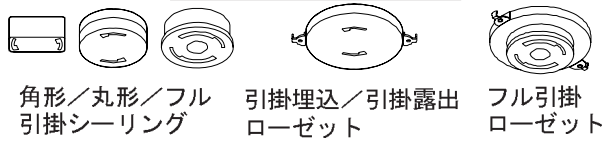
注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
 ★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

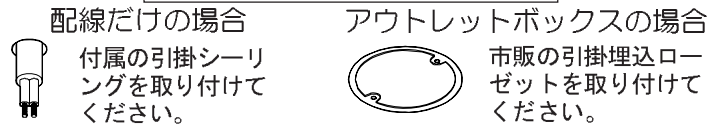
取り付け場所の確認

PD-2564-L の場合

すぐ取り付けられます

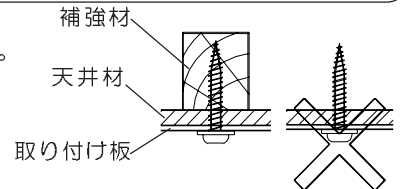


配線器具の取付工事が必要です



警告 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
 ★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

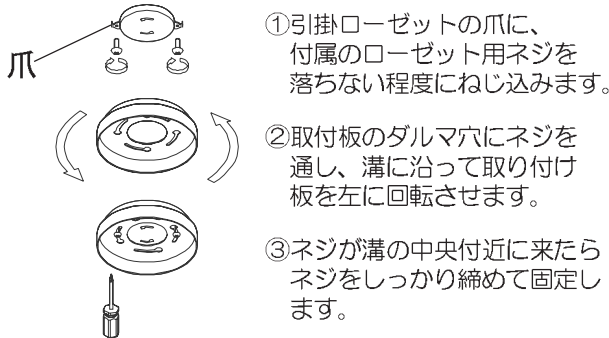
注意 建築の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられない事がまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



1. 取付板のセット

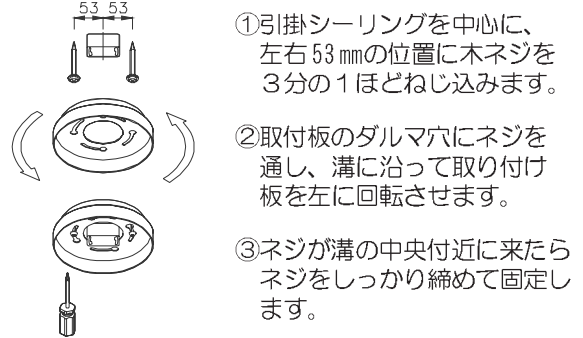
A : 引掛ローゼットが天井に付いている場合

引掛ローゼットの爪を利用して取り付けます。



B : 引掛シーリングが天井につける場合

付属の座付き木ネジを利用して取り付けます。



2. 本体の仮吊チェーンを取付板のフックに引っ掛けます。(必ず行ってください。)

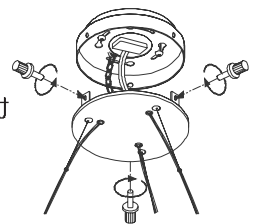
3. 電源の接続

引掛けシーリングキャップを引掛けローゼット、または、引掛けシーリングボディに差し込んで、時計方向に止まるまで回転させます。



4. 本体のセット

本体を取付用ナット (3個) で取付板に固定します。



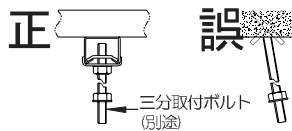
取り付け場所の確認

PD-2565-L の場合

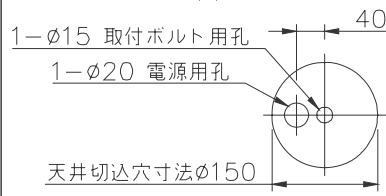
警告 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
 ★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

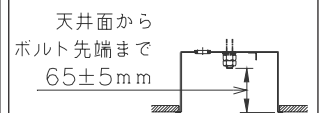
1. 天井切込穴および取り付けボルト位置を確認してください。
2. 取付ボルトはレースウェイなどを使用して必ず垂直に降ろしてください。
3. ボルトの長さを調節してください。



取付ボルト・電源位置と天井切込穴寸法



ボルトの出寸法



取り付け方

注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

注意 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
 ★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に 固定ネジをゆるめフランジを外します。

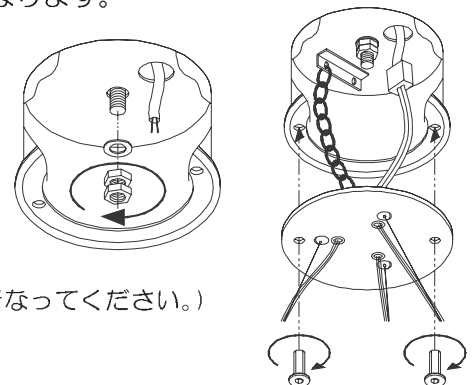
1. 結線ボックスを取り付けます。

- ①電源穴より電線を引き込んでください。
- ②結線ボックスを三分取付ボルト (別途) に通し、Wナット、ワッシャーで確実に締めこんでください。

2. 本体の仮吊チェーンを取付板のフックに引っ掛けます。(必ず行ってください。)

3. 電源線を接続します。●電源線を速結端子に差し込みます。

4. フランジを取り付けます。

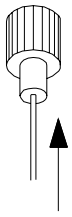


吊下げ高さの調節

ワイヤーストッパーを調節してお好みの高さに設定します。
最大高=1.5m（出荷時のもの）～最小高=0.8mの範囲内で調節できます。

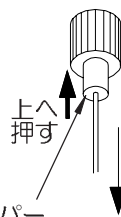
ーワイヤーストッパーの調節の仕方ー

短くする場合



- ワイヤーストッパーの中にワイヤー線をまっすぐに押し込みます。
- ※ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押しながらワイヤー部を押し込むと楽におこなえます。

長くする場合



- ①ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押しながらワイヤー線をまっすぐ下へ引き出します。
- ②長さが決まったらストッパー先端部を放します。
(ワイヤー線はそこで固定されます。)

ワイヤーストッパー

- ※調節したワイヤー線の長さに合わせ電源コードの長さを調節します。
- たるんだ分の電源コードはフランジ内部に押し込みます。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

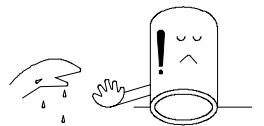
お手入れについて

△ 注意 ● 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- 1年に1回はお手入れを行い異常が無い点検をして下さい。
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。
- ★点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
- こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

△ 注意

- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- 光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
★光源ユニットの故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。
絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

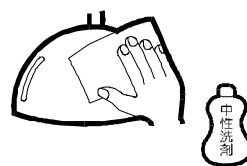


◆光源ユニットの交換

△ 注意 ● 本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

◆お手入れのしかた

- ①スイッチを切ります。
- ②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- ③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- ④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。